

今年度も幼児教育センターから、ことばや子育てに関する情報をご紹介します。

## 「あいさつことば」

「おはよう」「いただきます」「ありがとう」「ごめんね」「おかえり」など日本にはたくさんのおいさつのことばがあります。

食事の前に手をあわせて「.. ちゅ」とあいさつしているのは可愛いですね。これは、「いただきます」のことばは頭の中に入っているのですが、まだ発音のための口の機能が追いついていない状態ですので、6文字全部を言えなくても大丈夫。今は子どもの発達を待ってください。横で大人がゆっくり「いただきます」と見本を聞かせるだけで良いと思います。

また「ごめんね」のことばは知っていても、言いたくないときや、恥ずかしくて言えない場合があります。無理に言わせようとせず、大人が子どもの代わりに言う、またはいっしょに言ってください。

(例)「〇〇ちゃん、ごめんね。」「△△ちゃんも次は言えたらいいね。」

うまく言えることより、まずはいろいろなあいさつのことばを知ること、自分から言おうとする気持ちを大切にしてください。

『あいさつことば』あそび： ままごとや人形あそびなどの活動を通して、楽しい雰囲気の中でいろいろなあいさつことばを聞いたり、口に出してみましょう。

「かして」→「いいよ」→「ありがとう」 「いってきます」と「いってらっしゃい」  
「ただいま」と「おかえり」 「ごめんね」 → 「いいよ」 など。

＊ ＊ここでも無理に言わせようとせず、やりとりを楽しんでください。

＊ ＊「ただいま」「おかえり」などはまだ逆に言うことも見られます。言い直しはさせず、大人がさりげなく立場にあったあいさつを聞かせてあげてください。

## ～いっしょに遊ぼう～ プロローグ

社会環境や考え方の変化に伴い「今時の若者は」といつの時代も言われ続けています。

子育てについても必ず話題になりますね。

昔はビデオやテレビを見る時間の長さが問題になりました。「一人で見させない」と言われたものです。ただ、テレビ画面のため家族で観たり、ゲームも一緒に行う事が可能でした。

現在は、スマホの小さな画面で一人視聴が当たり前の時代。こんな小さな子が？と思う年齢から操作を習得しているのが驚かされます。頼らずに上手く利用してもらえれば良いなあと思っています。

いつの時代も問題と言われる所以は、人格形成の大事な時期に一方通行のコミュニケーションを経験し過ぎる事になるからです。

自分の情報、気持ちが画面向こうには伝わらない、自分のペースに合わせてくれない相手と付き合っている事になるのです。

## 自己表現は言葉とは限らない

何よりも自分が大事にされていると感じる経験をたくさんして欲しいと思います。

双方向のコミュニケーションは、大事な非認知能力である「人と関わる力」を育てます。そして、言葉より行動する事によって多くの力が育ちます。(参考：昨年の子育ての知恵袋)

何気なく子どもと遊ぶ・・・この感覚で保護者も楽しんでもらえるヒントを紹介していきます。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます  
夢と希望のもてる たからっこを  
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。